

平成 25 年度 第 3 回 仙台市景観総合審議会 議事録

日 時 平成 26 年 1 月 27 日 (月) 午前 10:00～12:00

会 場 仙台市役所本庁舎 2 階 第 1 委員会室

出席委員

審議会委員 佐藤 盛雄委員, 庄司 俊充委員, 杉山 朗子委員, 武山 良三委員,
杼窪 昌之委員, 堀 繁委員, 馬場 たまき委員, 宮原 博通委員,
巖 爽委員, 吉川 由美委員

専門委員 相澤 義博専門委員, 阿部 昌孝専門委員, 石井 光二専門委員,
北村 治専門委員, 志子田 伸一専門委員, 高橋 貴美江専門委員,
並木 直子専門委員, 増田 聡専門委員, 脇坂 隆一専門委員

欠席委員 涌井 史郎委員

仙 台 市 稲葉副市長, 都市整備局長, 中村理事, 板橋次長, 菊池次長, 相沢次長,
吉野参事, 経済局観光交流課, 建設局道路計画課
青葉区街並み形成課, 宮城野区街並み形成課, 太白区街並み形成課,
若林区街並み形成課, 泉区街並み形成課

事 務 局 都市整備局計画部都市景観課

そ の 他 国土交通省 東北地方整備局, 宮城県 都市計画課

1. 開会 (00:17～00:56)	
事務局	ただ今より, 平成 25 年度第 3 回景観総合審議会を開会いたします。 本日, 司会役を務めます都市景観課の早川と申します。どうぞ, よろしく願います。 本日の景観総合審議会は, 新たに委員に委嘱いたします皆様をお迎えする, 最初の審議会になります。 本日は稲葉副市長をお迎えし, 委員及び専門委員の皆様の席を順次まわりまして, 委嘱状を交付いたします。 それでは, 稲葉副市長願います。(00:56)
2. 委員・専門委員委嘱 (01:00)	
3. 副市長挨拶 (05:38～12:30)	
事務局	続きまして, 稲葉副市長より挨拶を願います。
稲葉副市長	皆様, おはようございます。 本来であれば, 市長の奥山が参上いたしまして委嘱状をお渡しし, お願いを申し上げるべきところではありますが, 市長は生憎, 他の公務が重なりまして参上できませんので, 今, 私の方から市長の委嘱状をお渡しさせていただきました。お許しをいただきたいと存じます。 本日は, 大変お忙しいお立場の皆様ばかりでございます。

この度は仙台市都市景観総合審議会の委員に、そしてまた専門委員会の委員に快くお引き受けいただきましたことを、心より御礼を申し上げますと存じます。

大震災から間もなく丸3年になろうかというところでございます。この1年、私共も被災をされた方々に、仙台の復興はここまで進んでいるということ、実感していただけるようにということで様々な復興関連の事業に取り組んでまいりまして、やっと少しずつその成果が具体的に、復興公営住宅であればもう入居していただけるというところまで進んでくる。それから、防災集団移転先の宅地整備が終わって抽選をするというようなどころまで進んでまいりました。

仙台市の復興計画期間は、5年ということで取り組んでおります。

もとより全部の事業、被災された方全てが、生活再建までこの5年間で全てを成し遂げるというようなことは、我々としても元々かなりハードルの高い目標だということは承知しておりますけれども、復興にあたる仙台市のいわば宣言、目標として定めて、それに向かって今取り組んでいるところでございます。

皆様方に今回お引き受けいただきました、本市の都市景観、これは今さら申し上げるまでもなく、400年以上前に伊達政宗が、この仙台の土地を開いて以来、非常に景観に恵まれた街ということで、これは全ての仙台市民の誇りでもございますし、この景観を守り抜いてきたという400年の歴史そのものが、ある意味市民の誇りでもあるというふうに思っております。

今後の復興を進めていく中でも、私共としては仙台市民の400年の集大成としての復興事業、この誇りを引き継いでいける復興事業を進めていきたいというふうに思っております。

これから2年の任期、皆様方をお願い申し上げます。

どうぞよろしくご指導をいただきますように、お願い申し上げますと存じます。

直近の話題になりますけれども、これから1年後ということになりますが、来年の3月に仙台で国連の防災世界会議という会議が開催されます。これは本体会議とそれからNPO・NGOの会議と両方合わせますと、4万人以上の方々が仙台にお見えになる、仙台で今までやったことのない、大規模な会議が開催されることが決定しております。

更に平成27年には、地下鉄の東西線が開業いたします。

こうした本市の街づくりにとっては、大きな意義のあるイベントであったり、事業の完成であったり、こういうことを一つの契機として、現在多くの外からお見えになった方々に対して、或いは仙台にお住いの方々に対しても誘導デザインというものを改めて見直しをして、整備をしていく必要があるのではないかなというふうに思っております。

10数年前にも一度、仙台市ではデザイン計画というものを作りまして、街の中で市民の方々が移動をよりわかりやすくしようという取り組みを進めたことがございますが、もう大分年数も経っていると。それから、その後の様々な都市基盤の整備も進んでまいりまして、改めて見直しをする必要があるのではないかなというふうなことで、よりわかりやすい、

	<p>それから世界に通用するデザインというものも取り組んでいきたいというふうに考えておりました、そのため専門委員会の方も併せて設置をさせていただいたということでもあります。</p> <p>時間的な制約も非常に厳しい中でご検討いただく必要がございまして、大変恐縮でございますが、そうした部分にも皆様方の知恵をお借りしまして、市民の皆様にとって仙台が誇れる、全国から或いは世界からお見えになる方々に対しても誇れる街であるように、私共も精一杯頑張ってみたいというふうに考えておりますので、どうぞよろしくご指導いただきますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>よろしくお願ひいたします。(12:30)</p>
4. 委員・専門委員自己紹介 (12:34~37:13)	
事務局	<p>続きまして、委員及び専門委員の皆様から自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>先ほど委嘱状をお渡しした順に、おひとり1~2分程度をお願いいたします。</p> <p>なお、本日は所用によりまして、涌井委員からご欠席の旨、ご連絡をいただいております。</p> <p>では、佐藤委員から順にお願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>仙台商工会議所の佐藤と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>国連防災世界会議に向けて様々な準備が取り込まれる中で、街の声を拾いまして、商工会議所としてこの会議でお伝えできればと考えております。</p> <p>どうぞよろしくお願ひいたします。(13:38)</p>
庄司委員	<p>私は庄司俊充と申します。仙台市議会の方からということで参加させていただいております。</p> <p>今、副市長からお話がありましたように、国連防災会議と地下鉄東西線、また高齢化社会を踏まえた、大変わかりやすい標識等を皆さんで、短時間でと思っておりますけれども、一緒になって審議してみたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。(14:28)</p>
杉山委員	<p>日本カラーデザイン研究所というところの杉山と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>参考資料を僭越ながら作っていただいたのですが、私は景観の色彩も専門としておりました、古くは東京のレインボーブリッジの色彩計画の作業班をやらせていただいたり、その後も土木及び景観の色彩というようなことを携わっております。</p> <p>その中で私は、山形の芸術工科大学の方にまいっております、この震災の際、色彩の無力さみたいなものを考えたときに、何もなくなった場合、どういった色彩を考える手法があるかなということを契機に、ここ3年ほどアンケート調査を学校の学生にお願いして、昨年度まとめたものを色彩学会の環境研究会に発表させていただきました。</p> <p>一番後ろに、山形市と仙台市の色の違い、大切にしたい色ということで、ちょうど人数も多かったのを少し比較してみましたら、仙台市は並木ですとか公園ですとか、或いは庭木ですね、非常に素晴らしい住宅街</p>

	<p>もお持ちでいらっしゃるので、庭という声が非常に高く出ておりました。そんなことをまとめたものでございまして、こんな風に色というものは、普通ですと識表等々で調査するのですけれども、皆さんの心に残る大切にしたい色なんていったことを、今後これを続けてまとめてまいりたいと思っております。</p> <p>そういったこともぜひ仙台市さんにも反映しながら、サイン計画等々やっていていただければと、そんな風に思っております。</p> <p>よろしく願いいたします。(16:43)</p>
武山委員	<p>富山大学の武山と申します。専門は屋外広告物です。</p> <p>本日は、富山からではなく京都からまいりまして、実は京都の方で屋外広告物の規制が、今年新しい条例を施行したことの期限となっております。非常に格闘されているということのご相談に乗ってまいりました。</p> <p>一旦、違法広告物を撤去するんだということで進められておりますが、同時にそれだけでは不十分だと。街の魅力を作っていくためには、或いは観光客の方々に京都を満喫してもらうためには、やはりポジティブな広告物が必要であるというようなことでお手伝いさせていただいております。</p> <p>本日、専門委員の方々に具体的に事業者とか交通関係だとか、我々非常に喜ばしいことかと思えます。</p> <p>皆様方と共に仙台の魅力というものを作っていきたいと思えます。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。(17:40)</p>
馬場委員	<p>宮城県名取市にございます、尚綱学院大学の馬場と申します。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>前期に引き続き委員の方をやらせていただくことになりました。</p> <p>前期では、景観部会の方にも属させていただきまして、学生或いは子供たちと一緒に街歩きをして、景観を分析するというようなことをやってまいりましたけれども、今期も引き続き続けていながら、こちらの部会で話題になっていることを私の研究分野と繋げていくとなると、各世代の市民と触れ合う中で、副市長の話にもありましたけれども、復興を進めていく上では、やはり市民の力というのは大きいと思えますので、市民と共に歩んでいけるような、そういう景観のあり方というところを大事にして務めさせていただきたいと思えます。</p> <p>よろしく願いいたします。(18:50)</p>
杼窪委員	<p>私も前期より専門委員を仰せつかっております、杼窪と申します。</p> <p>ちょっと珍しい名前ですが、ひも解けば、どうでもいい話なんですけれども、愛姫についてきた侍従のものだと、苗字が珍しいので簡単に県立図書館でうちの父親が調べました。ですから、先ほど副市長が400年以上前からというお話でしたが、私は米沢から政宗にずっと仕えている、仙台大好き人間でございます。</p> <p>私は、一般社団法人日本屋外広告物団体連合会というところの副会長と、国家資格であります屋外広告士会の全国の会長をやらしてもらっております。業界の代表として、単なる金儲けだけの話ではなくて、是々非々から委員を務めさせてもらいたいと思っておりますので、よろしく</p>

	<p>お願いいたします。(20:00)</p>
堀 委員	<p>東京大学におります、堀と申します。</p> <p>専門は景観工学とあって、景観を使った様々な計画とか設計を中心に研究しております。</p> <p>当然のことながら、そうなるとう街づくりとか地域の活性化、そういうのにどうやって景観を使っていくのかということが重要になりまして、そういうことをやっております。</p> <p>防災世界会議があつて、世界中から4万人来るとのことなので、日本人には仙台は良いイメージを持っていますけれども、その良いイメージを世界中に広げる大チャンス。おしゃれで、華やかで、楽しいところだと。そういうイメージを植え付けるような、色々な施策をぜひ市長さんにはとっていただきたいと思ひまして、そういうのが私の専門なのでお役に立てればと思ひます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。(21:14)</p>
宮原委員	<p>宮原博通と申します。前期からこの景観総合審議会に関わらせていただいております。</p> <p>現在、地域環境デザイン研究所というところで、私の専門は都市計画、特に地域おこしという点から街づくりに色々関わらせていただいております。</p> <p>仙台との関わりは、昭和48年から始まりました仙台一番町の市街地再開発のコンサルティングに関わらせていただいたのが、仙台との出会いの始まりでした。それで、宮城大学の開学時からそこで教鞭をとつてきて、学生たちにも仙台の魅力はどう作りこんでいくのかと、仙台の未来に向けてどう街づくりをしていくのか、そんなことを学生たちにも教えてきたところでありました。</p> <p>これからも仙台の魅力づくりに、この景観を通して色々関わらせていただきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いいたします。(22:44)</p>
巖 委員	<p>宮城学院女子大学の巖 爽と申します。</p> <p>私もこの委員に携わらせていただくのは2期目でございます。</p> <p>私の専門は建築計画、特に高齢者と医療・福祉建築が専門なんですけれども、1期目は、大学の研修制度を利用して1年間、フィンランドで研究をしておりますあまり貢献はできませんでしたが、ただ1年間で感じたことが二点、非常に強く感じました。</p> <p>一つは、専門外の生活者、市民が、建築も含めた街並みへの関心は非常に日本と違つていて、自分の生活している街に非常に関心が高い。そういうことは、やはり良い街並みを作つていくひとつの理由になっているんじゃないかと思ひます。</p> <p>あともう一つは、例えばスペインとかバルセロナとかは、非常に障害者に優しい街にもなつていて、アクセシビリティとか非常に進んでいて、そういったところで前期できなかったことは、ぜひ今期、高齢者に障害者に優しい街づくりという観点からも、何かお役に立てればと思ひます。</p> <p>あともう一つは、仙台は100万人口都市でありながら、非常に大学が多い特徴があつて、その中で産学連携、学生も巻き込んで、生活者として景観を一緒に考へていくという側面からも何かできればと思ひます。</p>

	<p>よろしく願いいたします。(24:45)</p>
吉川委員	<p>生まれも育ちも仙台の吉川でございます。</p> <p>今、事務所が広瀬川の河畔にありまして、真向かいに県立美術館の森が見えて、本当に私は、仙台市民として仙台の宝物を、毎日享受して過ごしております。定禅寺通りのケヤキ並木と一緒に大人になってきた感がある、そうやって一緒に老いていくんだなというふうに思っております。</p> <p>私は、アートを通したソーシャルなプロジェクトで街づくりを行うということが主な専門で、今は八戸市の中心市街地、いつも景観のことで仙台市は羨ましいと八戸市は申していますけれども、そういったことにも携わっております。あと被災地、南三陸町でも色々アート活動を通して街をつくることに携わっています。</p> <p>また、こちらの志子田委員の下で県・市の観光キャンペーンメイキングにも携わっております。</p> <p>私は、人の心を動かす景観というものが、必ず実現できると思っております。また、一つのサインであっても、何か人の心を動かすエモーショナルなものができていくと思えます。そしてそういうものが、仙台市の景観の中には、多分世界で一番似合っていくだろうと思っておりますので、ぜひ皆さんのお役に立てることがあればと思っております。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。(26:35)</p>
相澤専門委員	<p>J R東日本仙台支社におります相澤と申します。よろしく願いいたします。J R東日本ですので、鉄道事業者としてという立場での専門委員だと思っております。</p> <p>私は、仙台生まれの仙台育ちなもので、仙台駅は、新幹線の仙台駅になる前から知っておりまして、今の仙台駅そのものは、仙台市の都市景観賞か何かをいただいた建築物となっておりますと思います。</p> <p>ただ、交通事業者、案内サインですとか、そういった部分では非常に苦勞はしておりますが、なかなか正解の見つけられないところで、そういう意味では色々なお客様にわかりやすいサインであったり、空間であったりを作っていきたいと常日頃思っておりますので、今回の専門委員としての立場になりますが、よろしく願いいたします。(27:31)</p>
阿部専門委員	<p>J T B東北本社の阿部でございます。</p> <p>私は、去年の2月まで東北観光推進機構の方へ出向しておりまして、インバウンドの誘致をやらせていただいております。</p> <p>今、観光庁というか観光の面も含めて、ユニバーサルツーリズムというような言葉で結構戦略的に、日本のインバウンド誘致を進めていこうという話が出ています。そのためには、受け入れ側の環境整備、この辺もきちんと考えていかなければならないというので、私の方は、一応旅行会社として国内外の観光客の目線で、いかに仙台市も受け側の景観を生かした街づくり、この辺のお手伝いをできればなと思っておりますので、よろしく願いいたします。(28:21)</p>
石井専門委員	<p>石井光二と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>この名簿を見ると、私の肩書だけが何をやる者かということで怪しく思っているかもしれませんが、若干説明しますと有限責任事業組</p>

	<p>合コムワーク・プロジェクトといいますのは、地元の企業3社で設立した事業組合、目的は地域の活性化であったり、文化振興ということを行っております。その関係で仙台市さんの方から、2011年から中心部商店街の活性化プロジェクトという事業を受託しております、具体的に申し上げますと一番町四丁目の「仙台なびつく」、そしてクリスロード商店街の「東北ろっけんパーク」を拠点にして、中心部商店街の活性化に関する色々なお手伝いをしております。</p> <p>その観点から、一番町中央通りを中心とした中心部の景観、サインの部分の色々考えろということで委員に委嘱されたと思っております。</p> <p>私の思いとしては、街に来る方と街にいる方、それぞれが満足するような形で振興することが大事だと思っておりますので、ぜひよろしくお願いたします。(29:37)</p>
北村専門委員	<p>バス協会の北村でございます。</p> <p>私共、2年前に関越道のツアーバスの死亡事故が起こりまして、大変バスの信頼性が問われておりましたが、現在、バスプランという回復プランに基づいて、安心・安全の施策を検討しております。</p> <p>私が呼ばれたのは、仙台駅前周辺におけるバスのサイン関係の問題だと思っておりますけれども、これから皆さんと共に検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。(30:17)</p>
志子田専門委員	<p>宮城県の観光課の志子田と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>観光の立場からということになるかと思っておりますけれども、我々住んでいる人もそうだと思いますが、仙台を訪れていただいた観光客の一人一人が「仙台に行く心地よいなだね、気持ちいいいなだね」というような空間と申しますか、そういうものを提供できるような姿が一番良いのかなと、常日頃考えております。</p> <p>そして、私も一市民といたしまして、先ほど副市長さんのご挨拶にもありましたけれども、この仙台というところに誇りをもって、そして県外の方、世界の方々に、仙台の魅力というものをしっかりとお伝えできるような空間の整備に、微力ながらお手伝いをさせていただければなと思っております。よろしくお願いたします。(31:14)</p>
高橋専門委員	<p>仙台商工会議所の高橋と申します。</p> <p>仙台商工会議所の地域推進チームというところに所属をしております、観光、広域連携、仙台空港の利用促進などを担当させていただいております。色々な視点から皆さんと一緒に仙台の景観やサイン等の勉強をしてまいりたいと思っております。よろしくお願いたします。(31:42)</p>
並木専門委員	<p>株式会社ユーメディアの並木と申します。</p> <p>よろしくお願いたします。</p> <p>ユーメディアという会社をご存じない方も多いかと思っておりますけれども、グループ会社の方には、プレスアートという会社がありまして、「S-style」や「kappo」というタウン情報誌を作っております。ユーメディアの方は、行政、民間を問わず、皆さんの販促活動、PR活動のお手伝い、基本的には広告を専門として扱っております。</p> <p>私は、プレスアートからユーメディアへ出向しておりますので、そういったタウン情報誌関係とお客様のPR関係、両方の経験がありまして、</p>

	<p>そういったことから民間の代表といった形でお声をかけていただいたのかなというのと、仙台市様の事業ですと最近は観光交流課様と「伊達美味PR事業」ということで、仙台の美味しいものを「伊達美味」というふうに呼んで、皆さんで誇りとして広めていきましょうということで、そういったPRのお手伝いもさせていただいております。</p> <p>景観というのは売るための商品というものとは、また違うと思いますので、豊かさであるとか、喜びであるとかそういったものを、皆で共感できるようなところを考えて、最終的なアウトプットとしての看板であったり何かが出てくると思うんですけども、そういった表現の部分まで皆さんとお話しできたらいいなと思っております。</p> <p>よろしく申し上げます。(33:24)</p>
増田専門委員	<p>東北大学の増田です。</p> <p>専門は都市計画をやっておりますが、仙台市との関係では都市計画審議会の委員をやらせていただいております。</p> <p>もう一点は、震災後の復興メモリアルの記念の施設整備であったり、アーカイブスの作成であったりというような委員を今やっております。</p> <p>個人的には、仙台の街の中で街づくりの NPO などを色々やっているんですけども、震災以降、皆さんそれぞれの分野でかなり忙しくなってしまって、街中で色々な活動をするのが少なくなって滞っておりますが、またそのことも考えたいと思っております。</p> <p>先ほど、国連防災会議の話もありましたが、東北大学、特に中国人の方も含めて留学生が沢山いらっしゃるんですけども、彼らと話していて仙台は良いですねとは聞くのですが、仙台の街が本当にどういうふうに映っているかは、心象風景まではなかなかわからない。今回防災会議で色々な国の方がいらっしゃるの、どういうふうに見えるのかなというところから議論ができればいいかなと思っております。</p> <p>よろしく願いいたします。(34:48)</p>
脇坂専門委員	<p>東北地方整備局都市調整課の脇坂でございます。</p> <p>今の仕事は、東北全体の街づくり、特に復興の仕事が多いわけけれども、私は震災後に本省からまいりましたが、その時、本省では公園緑地景観課という課がありますが、そちらの景観室というところで景観法とか、屋外広告物法とか、歴史街づくり法の仕事をずっとやってまいりました。その関係でも仙台へ来たことがございますし、また私個人としては、仙台市民になるのは二度目でございますし、長町に住んでいるわけですけども、大変愛着をもっているところでございます。</p> <p>副市長さんの挨拶にもございましたが、平成 27 年は国連の防災会議もありますし、また地下鉄の東西線も開業するという、仙台市の格が上がる年ではないかなと思っています。その中でサインというのは、都市の風格を作る大変重要な要素かなと思っています。そういう意味で、この仕事に関われるのは、大変嬉しいと思っています。</p> <p>よろしく申し上げます。(35:54)</p>
事務局	【事務局の紹介】(35:55～37:13)
5. 会長・副会長選出 (37:27～42:17)	

事務局	<p>続きまして、当審議会の会長、副会長の選出に移ります。</p> <p>本市の景観条例で、審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によって定めると規定されております。</p> <p>これまでは、会長1名、副会長2名体制で対応しておりました。</p>
都市景観課長	<p>イレギュラーでございますが、事務局から若干補足をさせていただきます。</p> <p>今回、議題にさせていただきます、歩行者系の案内サインの検討、これが非常に短い期間の中で検討をする必要が出てきたということで、折悪しくという表現が悪いのですが、審議会がちょうど改選の時期で空白の状態では準備をしなければならないという状況がございました。</p> <p>本来であれば、会長にご相談をした上で部会の設置を検討するのですが、残念ながら空白状態でしたので、勝手ながら事務局の方で仮にこういう形であればということで、組織立て等も含めて想定をして準備をさせていただきます。</p> <p>具体的には、これまでご説明してきた方も多いのですが、涌井会長が前期会長でしたので引き続きお願いできた場合には、という形で進めてまいりましたし、宮原副会長にはそのまま引き続き、石田委員につきましてはご事情があって仙台から去られるということで、代わって東大の堀先生に副会長をやっていただければと考え、また今回の具体的な中身については、やはり交通関係ですとか各機関の皆様方にご意見をいただく必要があるだろうと、そういう想定の中で専門委員の皆様を委嘱させていただきます、部会長についても本来は事務局側で決めることではないのですが、ご専門の武山先生にこちらの座長をやっていただくと進行が順調かなと、以上のような想定の中で組み立てをしております。</p> <p>勿論制度上、会長、副会長は委員の皆様での互選、部会長及び部会員の指名は会長権限になっておりますので、そちらに委ねさせていただきたいと存じますが、これまでの事務局の組み立てをご斟酌いただければということでございます。</p> <p>最後に、本日欠席になってしまったのが、会長をお願いしようとしていた涌井先生でございます。先週、涌井先生にお会いしまして状況のご説明をいたしまして、人選についても、部会等の組み立てについても、また進め方についても、皆様方のご了解があればそのような形で進めてよろしいですという内諾はいただいております。</p> <p>以上、異例ではございますが、事務局からの状況報告といたしまして、会長、副会長の互選から始めていただければと思います。(41:03)</p>
巖 委員	<p>それでは事務局が想定したように、会長を涌井先生、副会長を宮原先生に引き続きお願いしたいと思いますが、その方が色々と進行もスムーズに運ばれるのではないかと思います。</p> <p>皆様、いかがでしょうか？(41:25)</p>
事務局	<p>宮原委員、よろしいでしょうか？</p>
宮原委員	<p>私は構いませんが、もう一人も事務局の想定通り堀先生に。景観も地域づくりもご専門でありますし、堀先生にお願いできたらよろしいので</p>

	はないかと思います。
事務局	堀委員，よろしいでしょうか？
堀 委員	はい，微力ながらお力になれるようでしたら，私が務めさせていただきますと思います。 どうぞ，よろしくお願いいいたします。
事務局	それでは，皆様からご了承いただきましたので涌井委員に会長を，宮原委員と堀委員に副会長をお願いいいたします。 どうぞ，よろしくお願いいいたします。 それでは，宮原委員と堀委員よりご挨拶を賜りたいと思います。 宮原委員，お願いいいたします。(42:27)
6. 会長・副会長挨拶 (42:27～45:44)	
宮原委員	ご指名いただきまして，大変なお役を引き受けてしまったなと思うところではありますが，私はやはりこの仙台市の行政を陰ながらサポートする立場，そしてまた，仙台の色々な商業者の方たち，生活者の方たち，また若者，子供たち。様々に関わってきた中でいつも考えていることは暮らしの中の街の誇りはなんだろう，そんなことを常々考えているところではありますが，やはり都市景観というものを通して，まさに地域文化がより醸成され，産業の振興の基盤が作られ，そして仙台で暮らす人々，そしてまた訪れる方々の誇りになるような環境を高めていくということが，これからのひとつの国の在り方だろう。そんなふうにも思うところでありまして，今回の仙台市景観総合審議会が展開する中で，新たな仙台の活力を見出すきっかけが，多く生まれたら本望だなと思いますので，また皆様のご協力を頂きながらそしてまた，多くの知恵を頂きながら，アイデア等も踏まえつつ，魅力ある仙台市づくりに関わらせていただきたいと思ひますし，ご協力いただきたいと思ひます。 どうぞ，よろしくお願いいいたします。(44:34)
事務局	ありがとうございました。 続きまして堀委員，お願いいいたします。
堀 委員	景観が専門なんですけれども，景観の論理は意外とシンプルなんです。ね。良い景観というのは，見た人が良いなと思うという，割と単純なことなんです。ね。 ただ，景観が難しいのは，私たちの頭は非常に複雑なので何を良いと思うかというのが，状況や人によって大分違うんです。ね。勿論，居住者と来訪者は違いますし，それから住宅地と商店街の目抜き通りも違います。そういう，個別性が非常に高いというのが，景観を難しくしているんです。その個別性に対応して，それぞれの場所ごとに「なるほど，ここはいいな」と思わせることが仕事だと思うんです。一番難しいところなんですけれども。 微力ながらお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいいたします。(45:44)
7. 景観総合審議会専門部会の活用について (45:44～53:13)	
事務局	どうもありがとうございました。 本日の審議会は，委員 11 名中 10 名の委員がご出席です。過半数の委

	<p>員が出席しておりますので、規定によりまして会議は成立しております。</p> <p>また、会長は審議会の会議を招集し、その議長となることと規定されておりますが、本日は涌井会長が欠席でございますので、副会長がその職務を代理することと規定されております。</p> <p>事務局では、前回から引き続き副会長をお願いいたします、宮原副会長に会長の代理と本日の会議の議長をお願いしたいと思いますが、宮原副会長、堀副会長、いかがでしょうか？</p> <p>よろしいですか？</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>宮原副会長、議長席にご移動願います。</p> <p>それでは、議事に入る前に、本日の議事とも密接に関連いたしますので、専門部会の部会委員を選出していただきたいと思っております。</p> <p>まず初めに、事務局よりご説明をいたします。(47:30)</p>
事務局	<p>都市景観課の高橋です。</p> <p>パワーポイントを使用しまして、案内誘導サインの検討に向けた専門部会の設置についてご説明いたします。</p> <p>正面のスクリーンをご覧ください。</p> <p>本市では、平成12年に仙台市歩行者系サインガイドラインを策定し、サイン整備を行ってまいりました。これまでの整備でもある一定のレベルは保たれてきたと認識しております。</p> <p>しかしながら、このガイドラインは単体のサインのデザイン等に関することが大半であること等から、課題が見えてまいりました。</p> <p>一つ目は、個々の事業によるサイン間の情報の繋がりや連携が見られないことです。</p> <p>二つ目は、ガイドラインの運用には一定の自由度があり、それぞれの事業において整備されるが、必ずしも一貫したコンセプトに沿っていないことです。</p> <p>三つ目は、ガイドラインを運用する中で見えてきた課題です。わかりやすく、仙台らしいサインとするために、改善されるべき事項が散見されます。</p> <p>このような中、平成27年3月に国連防災世界会議が開催され、地下鉄東西線も開業され、来訪者、来街者が多く増加されることが予想されることから、改めてサイン整備の基本方針を検討することとなりました。</p> <p>具体的には、お手元の資料やパワーポイントの図に示しますように、その目的によった多種多様なサインが、統一のコンセプトの元で統一されるよう、整備基本方針の検討を行ってまいります。検討にあたりましては、当審議会に専門部会を設け、専門的な知識をお持ちの皆様からのご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>審議のスケジュールです。</p> <p>本日の景観総合審議会では、現況を踏まえた事務局の課題認識と、方針策定の視点をお示ししますので、それぞれに対するご意見を頂戴したいと思っております。</p>

	<p>2月13日の専門部会では、本日の意見を踏まえ、更に深く、課題認識等の整理に対するご意見等を頂戴したいと考えております。</p> <p>来年度は、審議会、専門部会のご意見を踏まえまして、パブリックコメントを実施し、整備基本方針の策定に繋げていってまいりたいと思っております。</p> <p>景観総合審議会と専門部会の構成です。</p> <p>審議会は委員11名と専門委員9名の合計20名からなります。</p> <p>このうち、9名の専門委員全員と委員1名で専門部会を構成し、委員の方を部会長として事務局は考えております。この10名からなる専門部会におきまして、案内誘導サインの整備基本方針の専門的な検討を行い、審議会へ報告し、最終的には審議会で議決することになります。</p> <p>今後のスケジュールを図解したものになります。</p> <p>審議会や専門部会での検討を踏まえまして、市議会へも報告することになります。</p> <p>以上で、案内誘導サインの検討に向けた専門部会の設置についての説明を終わります。(51:40)</p>
事務局	<p>補足いたします。</p> <p>ただいまご説明いたしましたように、案内誘導サインの検討につきましては、専門部会において具体的な検討をしてもらいたいと考えております。</p> <p>その専門部会の構成につきましては、先ほど課長の糸賀がご説明いたしましたように、武山委員と9名の専門委員の方々、合わせて10名の方をお願いしたいと考えております。</p> <p>規定では、専門部会に属する部会委員及び部会長につきましては、会長が指名することとなっておりますので、本日会長代理の宮原副会長に指名していただきたいと思っております。</p> <p>宮原副会長、お願いします。(52:30)</p>
宮原副会長	<p>この専門部会の構成につきましても事務局の想定と同じく、武山委員と9名の専門委員の皆様を指名し、武山委員には部会長を指名したいと思います。</p> <p>武山委員、専門委員の皆様、よろしいでしょうか？</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>非常に期間が短くて大変ではございますが、武山委員と専門委員の皆さん、どうぞよろしく願いいたします。(53:13)</p>
<p>8. 議事</p> <p>歩行者系案内誘導サイン整備基本方針（案）の検討について（53:13～1:57:24）</p>	
事務局	<p>それでは、議事に入りたいと思っております。</p> <p>その前に議事録の取り扱いについて説明いたします。</p> <p>本日の資料4、「附属機関等の設置及び運営の基準に関する要領」第4条第3号に基づきまして、会議の議事録を作成する必要があります。</p> <p>議事録の作成にあたりましては、事務の簡素化を図るため、会議録署名委員制度を採用いたしまして、審議会開催ごとに会長に加えまして、名簿順に1名の委員に署名委員をお願いしたいと考えております。</p> <p>それでは、これからの進行につきましては、議長の宮原副会長にお願</p>

	いたしますので、よろしくお願いいたします。(53:57)
宮原副会長	<p>それでは、しばらくの間、議長役を務めさせていただきます。</p> <p>まず、議事録の署名委員につきましては、私と名簿順に佐藤委員にお願いしたいと思います。</p> <p>よろしいでしょうか？</p>
佐藤委員	はい。
宮原副会長	それでは、本日の議題の歩行者系案内誘導サイン整備基本方針（案）の検討について事務局より説明をお願いします。(54:30)
事務局	<p>お手元の資料8を使用し、前方のスクリーンで歩行者系案内誘導サインの検討についてご説明をさせていただきます。</p> <p>歩行者系案内誘導サイン整備基本方針等（案）の検討について、先ほどの説明と重複する部分もございますがご説明いたします。</p> <p>これまで本市では、平成12年に策定いたしました「仙台市歩行者系サインガイドライン」に基づき、各部局において案内誘導サインの整備を進めてまいりました。</p> <p>これまでの10年ほどの取り組みを経て、先ほどご説明したように改善すべき点がいくつか見えてきたことに加え、平成27年3月の国連防災世界会議開催、その後、同年中の地下鉄東西線の開業によって観光客などの来訪者等が増加することが見込まれております。</p> <p>このようなことから、案内誘導サインについて、わかりやすく仙らしい、一貫したコンセプトに沿って整備できるよう、基本方針の策定に向け検討に取り組み始めたところでございます。</p> <p>今回の取り組みの狙いの一つは、自然に流れる誘導という点です。</p> <p>外国から訪れる方も含めた観光客や市民の方々などが、市内を歩いて移動しようとしたときに、目的地までスムーズに到達できるような誘導策が必要であろうと考えております。</p> <p>二つ目は、市域一帯のコンセプトです。</p> <p>本市の各部局でそれぞれ設置しているサインが、一つのコンセプトで整備されることにより、わかりやすい統一感のあるサイン環境に繋がると考えております。</p> <p>また、民間の交通事業者とも連携し、民間で設置するサインについても可能な限り同一のコンセプトの基で設置してもらいたいと考えております。</p> <p>このような狙いをもって、現況調査を行いました。</p> <p>今回の対象範囲としては、仙台市中心部と仙台空港とし、歩行者系を中心とするサインの現状を調査いたしました。</p> <p>具体的には、行政の設置した歩行者系案内誘導サイン、地下鉄等の地下通路、自由通路のサイン、観光・文化財の学習系サイン、マナーサイン、自転車系サイン、張り紙等のサイン、仙台駅や仙台空港での事業者が設置したサイン等です。</p> <p>調査結果を分析したところ、三つの課題が見えてまいりました。</p> <p>まず、課題1として「景観」です。</p> <p>仙台市内、路上には多くのサインがあります。注意喚起、放置自転車禁止、道路の仮設看板、喫煙防止のマナー・啓発等、目的をもったもの</p>

ですが、数が多いこと、デザイン等がさまざまであることから、美観を損ね、景観を乱しています。

課題2は、「情報の連続性」です。

他都市からの来訪者が、仙台空港からJR仙台駅を経て、地下鉄、バス等で目的地へ向かう時に、現在、各事業者がそれぞれサインを設置しているものの、目的地までスムーズに迎えるような必要な情報な連携が取れていません。

課題3は、「情報の伝達性」です。

現ガイドラインによって、一定の水準は保てるようになりましたが、改善すべき点も見えてきました。

まず、見つけにくいという点です。

他のサインや街路樹に紛れて、来訪者にとって必要な案内誘導サインが目立たない、見つけにくい状態になっています。

次に、見づらいという点です。

現在の案内誘導サインは、地図の上をガラスで覆っています。

太陽光の反射により地図が見づらかったり、施設の案内のシールが剥がれているところも見られました。

また、サインそのもの、地図の表現がわかりにくいものもあります。

左上の地図でも現在地がどこなのか、目的地が地図のどこなのか、来訪者の方にとって必ずしも探しやすい表現ではありません。

左下の地下鉄にある周辺地図は、地上の地図と表記や記載内容が違うため、わかりづらい面があると思われます。

また、右側の写真は、商店街など中心部にあるサインの本体です。

デザイン上は、すっきりとして調和している反面、案内誘導サインがここにあるということがわかりにくく、サインとしての機能性に課題がありそうです。

以上、三つの課題の解決に向け、策定を目指す基本方針の取りまとめの方向性について、方針策定の視点としてご説明いたします。

まずは課題1「景観」です。

先ほどの写真にもありましたが、さまざまなサインがデザイン等もバラバラに設置されています。

現状例として学校の案内サインの写真をお示ししております。

現在は各学校でPTAの善意などによりそれぞれが設置していますので、学校の数だけ異なるデザインの案内サインがございます。それらのサインについて一律に統ルールを当てはめることが困難なことから、種類別にスタンダードとなる、デザイン表示例を作り提案していくことで共通のコンセプトに誘導していきたいと考えております。

「情報の連続性」という課題に対しては、目的地までの流れる誘導のために、仙台市の都市構造全体に則した配置計画することで連続性を確保していることが必要だと考えております。道路、地下鉄等の交通拠点、観光などを含めた施設、本市の様々なテーマ、構造を検討した上で案内誘導の拠点性を階層別に整理した配置計画を検討いたします。

三つ目「情報の伝達性」については、現ガイドラインを改善してまいります。情報を集約化し整理することや主要な施設について施設アイコ

	<p>ンを表示したり、ピクトグラムを活用することで地図表記をわかりやすくすること、文字の表記、大きさを検討し、地図上の文字を見やすくすることや図の表現において、よりわかりやすい色彩にするなど、ガイドラインの改善を行います。</p> <p>本日の景観総合審議会及び2月13日の屋外広告物部会においては、ご説明いたしました課題認識と方針策定の視点について、このような進め方でよろしいか、他に考慮すべき視点はないかなど、ご審議いただきたいと思えます。</p> <p>よろしくお願いたします。(1:02:07)</p>
宮原副会長	<p>それでは、ただいま事務局より案内誘導サイン等についての説明がございました。</p> <p>事務局から整理して示されました現況や課題認識、そしてこの方針策定の視点につきまして、皆様からご質問やご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>いかがでしょうか？</p> <p>今、示された課題認識や方針策定の視点、それにもっとこういうところが抜けているのではないか、もっとこういう角度から見えていったらどうか？などなど、ご意見等いただきたいと思えます。</p> <p>いかがでしょうか？</p> <p>はい、厳委員。どうぞ。(1:03:19)</p>
厳 委員	<p>感じたことを、少し話をさせていただきたいと思えます。</p> <p>まず、今の調査を見て思ったのが、問題点を調査してわかりやすくまとめてくださっているのですけれども、その中で必要なものと今後減らしていくべきもの、制限すべきものが混在しているような気がいたしました。アジアの張り紙文化というのが本来あるのですけれども、ただサインとして整理していく際に、一時的なものをどう整理、制限していくかとか、サインとして残すべきものとか、その辺を一旦整理していく必要があるのではないかなと思えました。というのが一点。</p> <p>あともう一つが、今後サインを整理して作っていく際には、専門家が関わっていく必要があると思うんですね。一つは都市計画の観点からしっかり交通等を色々整理するための専門家。</p> <p>あともう一つ、ブランドイメージというか仙台ブランドをどう作っていくか。例えば有名な話、ミーハーな話になるかもしれませんが、今治タオルとか、それこそツタヤとか、ブランドイメージをデザイナーに依頼して統一したものにしていくことで、大分イメージが変わったという、そういった観点のアウトプットとしての専門家に全体的に関わっていただくことも必要というか、一つの考え方ではないかなと思えました。</p> <p>以上です。(1:05:28)</p>
宮原副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>まさに規制と誘導というのは、これから仙台の都市環境を作る、景観を作っていくという時に、当然この両面から見ていかなければならないわけですし、今、厳委員がおっしゃった専門家がそれぞれの立場から、それぞれの分野から仙台ブランド等もどう作っていくかというようなこ</p>

	<p>とも、ストーリー性を持ち、そして実施可能な物事が動いていく、プロデュースしていく、そんなことも含めて、どうやってそれを作っていくかということも今後検討していく課題だと思います。</p> <p>他にご意見等ございますか？</p> <p>では、吉川委員お願いします。(1:06:30)</p>
吉川委員	<p>はい。一つはあるべき場所に本当にサインがあるのかという問題に関しては、もう1回検討された方が良いのではないかなと思いました。特に来訪者に関して。</p> <p>私は仙台生まれ仙台育ちなので、こういったサインもじっくり見たことがなかったです。でも、たまに信号待ちで止まると、これは本当に来訪者にとってわかりやすいのかなとは思いましたが、本当にこの場所に来訪者が来て、このサインを利用できるのかどうか。つまり、どこか拠点の駅から出て、そこに本当は欲しいのだけれども欲しい場所にはないということが、多分沢山あるのだと思うのですね。時間がない中なのですけれども、もう一度その「あるべき場所」に関しては検討して、なるべく「あるべき場所」にサインがあるという状態にしていただければなと思います。(1:07:37)</p>
宮原副会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>そうですね。あるべき場所にあるべき情報があるというのは、基本的なところだと思いますね。掲げる都合で振り向かないと、回り込まないと見えないということも実際ありますよね。その辺もこれからの一つ視点だと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか？(1:08:02)</p> <p>はい、堀委員どうぞ。</p>
堀 委員	<p>これから整理はされると思うのですけれども、こういうのは少し分解して考えるとわかりやすいと思うんですね。</p> <p>まずサインは、サインの単体、一つのデザインなり、役割がありますね。「サイン単体」。</p> <p>それから同じ目的で複数作る、サインの集合の話がありますね。これは連続性とかそういう話になります。</p> <p>それからサインには一つの目的じゃない色々なサインがありますので、サイン全体の話がありますね。これも統一性が取れていない等先ほどありました。</p> <p>この三つの話は同じサインの話であっても違う話なんですね。サイン単体の話と同じ目的のサインの集合の話とサイン全体の話と。</p> <p>勿論、言うまでもなく、サインだけが独立してある訳ではないんですね。街があつて、その中にサインが埋め込まれていくので、今おっしゃられた「場」という話ですね。サインだけを考えると大抵失敗しますね。サインだけを見る人はいないので。サインよりも大体景観の特徴は、大きいものから見ていくので、建物とか道路とかの方が圧倒的に見られますので。それで見逃されるというのは、サインそのもののデザインの話ではないんですね。「場」の持っている、或いは空間の宿命的な問題なので、そういうことを理解してサインを考えないと大抵失敗しますので、全部違うんだということを、よく認識してやっていただきたいなと思</p>

ます。それが一点ですね。

二点目。今回は、特にサインの中でも案内誘導サインを特別に議論しようということだと思んですが、案内誘導サインというのは簡単に言いますと、都市の中の行きたいところに、的確に行けるように誘導していくという役割なんですね。

ところが都市というのは非常に変化が激しいんですね。仙台なんかものすごく変化が激しいんですね。臨機応変な対応というのが、今の案内誘導サインで最も重要な点なんですね。知られてくれば、市民全員が知ってしまえば、来訪者がみんな知ってしまえば案内誘導サインはいらないんですが、新しくできて誰も知らないところは、きめ細かくやるんですね。で、五年も経てばいらなくなるんですね。そういうドラステックに動く、都市の案内なんだということをよく認識していただきたいですね。都市はすごく変化するので、それに対応するということが重要です。

それからもう一つは、特に今回、防災世界会議ですか、こういうイベントに対応するのと、それから今言った、都市の日常的に都市の中を案内するというのは、性格が全然違うんですね。イベントの場合は、例えば極端に言えば、フラッグでバーッとやっても十分なんですね。イベントだけのことを考えてやってしまうと大失敗しますので。イベントのための案内誘導というのと、都市全体の案内誘導というのは違うんだということをご理解していただきたい。

それから次に、案内誘導というのは、迷わず行けるということが重要なんですね。ところが、イベントの世界防災会議の方の誘導サインには、実は的確に連れて行くということ以外に、世界防災会議をやっているというイベントの周知、案内というものが同時に含まれるんですね。そうであれば、的確に誘導するのを超えて、目に付いて「こんなのをやっているんだ」と、当然それは華やかであったりとか、案内誘導に加えて演出ということが当然求められると思うんですね。そのバランス、案内誘導だけを考えると「え、やってたの？」という話になるので。そういうことが、今回のものには含まれるんだということですね。

それからもう一点。地図をだいぶ多用しているようですが、地図が読める人は、極めて特殊な人です。殆どの方が地図を読めません。私が学生を連れて行っても、同じ地図を見ても全く反対方向に歩き出す学生がいくらでもいます。地図が読めるということを前提にした地図のサインは、役に立たないと思ってください。地図も持って歩いて迷う人が、持たないで見て、完璧にその地図を頭に入れて街を歩けるかという歩けないですよ。したがってヨーロッパには、フィンランドもそうだと思うんですけども、地図の案内は少ないですよ。殆どないと言って良いくらいですね。

それから、例えば路地一つも普通の人が見ると同じ通りに見える場合があるので、路地は地図で省略されたりしますよね。それだけで迷うんですね。地図はやばい、危ないと思った方が良くて、補完的に使うのは構わないけれども、そうでない、きちんと的確に間違えない誘導ということが、大事だと思っていただきたいですね。

	<p>そういう観点から色々資料を見せていただくと、大分ちょっと色々問題があるかなと思いました。ぜひうまくやっていただきたい。専門家がちゃんとやられるので大丈夫だと思いますけれども、老婆心ながらということで。</p> <p>以上です。(1:15:51)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>大変重要なポイントのご意見をいただきました。</p> <p>確かに、地図に対する取り扱いというのは、私たちは地図があれば人には伝わるだろうと思う錯覚というものもあるかもしれないですね。その辺も今後考えていかななくてはならないことですし、先ほど堀委員がおっしゃった都市はどんどん変化しているという、本当に都市の新陳代謝のスピードというものは速いわけですし、その辺を踏まえることと、今、イベント等の周知案内等の演出という、この辺も今まで私たちが兎角こういう会議の時に落としていたことかなと思います。そういった演出性ということも、よりきちんと内容なり、意味するところを伝える上では、演出というのは重要なことではないかと私も思います。</p> <p>他にご意見いかがでしょうか？</p> <p>はい、武山委員どうぞ。(1:15:50)</p>
武山委員	<p>五点ほどありますけど、一点目は、今の堀先生のお話ともかかりますけれども、情報の骨格を作る視点というのが、まず問われるかなと思います。</p> <p>要するに「ここはどこなんですか」という場所が、しっかりと特定されることがまず第一で、ランドマークであったり、或いは通り名、先ほどヨーロッパのお話でもしましたけれども、ヨーロッパの場合は通りには必ず名前がついていて、それも表示されている。番地もある。だから地図を見ても場所が特定されるということが、まず基本にあるかと思いますが、日本の場合は町名が主体となっているために、どうもそこが曖昧になってしまうということがあろうかと思えます。</p> <p>ですから、表記によりまして、ランドマークの名称の言い回しも変わったりしますから、そういったことを特定していくことがひとつ重要なこと。関連して「場」との関わりというのがありましたけれども、張り紙なんていうのも、例えば自転車を放置するとか、タバコを捨てるとか、そういう行為があるから仕方なくそうせざるを得なくなると。それは、サインにそこまで負うのは厳しいところがありまして、市民を含めた色々な啓発だったり、そういったものと一体的に捉えられる必要があると。</p> <p>いずれにしても、サインの情報をできるだけシンプルに限定していくということから、情報を整理する視点ということかと思えます。</p> <p>それから二つ目は情報の連携ということですが、今回は歩行者系のサインということですが、他メディアとの関連というのはもう切って切り離せない。マップであったりとか、スマホの案内であったりとか、そういったものとも先ほど申し上げた情報の連携が問われるだろうということで、そこをしっかりとすべきであろうと。</p> <p>特に外国人が多数、来られることが予測されますけれども、案内誘導</p>

	<p>に多言語を併記するのが非常に難しいことがございまして、これは例えば通り名だけはしっかりと出すと。そこで関連する情報はパンフレットで補完するとか、そういう作戦を取らざるを得ない局面が出てくるかと思えます。</p> <p>加えて歩行者ということなんですけれども、歩行者サインの反対側は車道に向いていて、車用のサインにもなりうるわけですし、やはりメインは歩行者としても、車両系のサインというのも少し意識をせざるを得ないんじゃないかなというふうに思います。</p> <p>それから三つ目として、情報の維持管理ですね。これも情報の連携といっしょなんですけれども、メンテナンスをいかにしていくかということの体制づくりを含めたやり方。色々なところで民間の方も地図を作られたり、或いは案内を作られたりするケースもありますので、そういったことも含めたような、ここに行ったらこういう情報が提供されますというような、そのような体制づくりも求められるかなと思います。</p> <p>そして最後になりますけれども、ブランドイメージという話が出ましたけれども、そうなってくると、単に迷わず行けるということに加えて、商業的な色合いみたいなものも考慮せざるを得なくなります。そこでランドマークというところの一つとして、例えば「美味しい牛タン屋さんがあるよ」みたいなことも、かなりはっきりとした目的地であったり、ランドマークになりえるわけで、そういったことと、いかに歩行者の誘導を考えるかというのも、システムとしては入れ込む必要があるかなと思います。</p> <p>以上です。(1:19:56)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>情報の骨格から連携から維持管理から、色々情報を取り巻く接点になることだとか、そこから波及することだとかということも重要だと思います。</p> <p>はい、どうぞ。(1:20:16)</p>
杉山委員	<p>私も四点ほど申し上げたいことがございます。</p> <p>まず、仙台らしいということでは、私もきちんと調べていなかったのですけれども公共の色彩賞といったものを、第18回だったと思うのですけれども、歩行者サインに関して差し上げているはずなんです。この前お話したら、「いや知らないよ」ということでしたが、どのサインに対してだったのか、私も情報を収集してまいりませんでしたので。そういった色の面等では仙台らしいねと、私も審査の時に見学にまいったものですから、うろ覚えで恐縮ですけれども。そういったことで割と全国には、勝手に私ども「公共の色彩を考える会」で発信等していたりするので、そういった捉え方も全国的にはあるということも、一つ申し上げたいなということでございます。</p> <p>それから、私はまったくの来訪者の目ということで、たまにこちらへまいります。ですから、新幹線で降りてきてということですか、山形市の方へ行っていますから、山形ー仙台往復のバスに乗ります。こういった交通は非常に便利なんですけれども、正直申しまして、いつも迷ったりするんですよ。非常にわかりにくいのです。</p>

	<p>というのは、JRさんがいらしているので、ぜひ、駅を降りたところから連携していただいて、バスも非常に駅から離れたところから乗らざるを得ないということもございまして、不安なんですね。私はここ数年来ておりますけれども、年に数回でございます。そのためもございまして、高さのレベルと平面のレベルということで、一番町当たりまで行くと非常に安心するんです、平らなので。特に、地下鉄の開通も含めて複雑化していくと思っておりますので、建物の構造のところから、都市の繋がりみたいところで大変期待しております。</p> <p>JRとバスの関係ですとか、サインの関係等、皆さんが一堂に会するという会議は非常に全国でも珍しく、素晴らしいメンバー構成かなと思っておりますので、ぜひ画期的な企画をなさっていただきたい、そういった要望を持っております。</p> <p>それから、私もカラーユニバーサルデザインというような研究の勉強会へ入れていただいております。色の変更等も考えていらっしゃるようですけれども、色弱の方対応のようなことでいくつか視点も出ておりますので、そういった面で申しますとフォントというのもお変えになるような形で、ここに例がございまして、大きくするというのは弱視の方の研究も皆様されていると思っておりますけれども、大きくなるというのは非常に良い方向かなと思っておりますが、書体で見やすい見にくいということも起きたりするようですので、専門家の方がお入りになると思っておりますので安心しておりますが、見やすさの面で、弱者の方々への配慮等も改めてお願いしたいなというのがございます。</p> <p>もう一点でございますけれども、自転車道が市内の大きなところしか存じ上げないのですけれども、歩道と一緒になさっていて、とても感じがよく仙台市さんやっておられるのではないかなと思ってございまして、東京は今、大変ひどい状態で、各都市も色々な問題点も抱えております。そんな中で、優良な方向性でこれまでやっていたら良いかと希望しております。</p> <p>以上、四点でございました。よろしく願いいたします。(1:25:05)</p>
宮原副会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今、杉山委員がおっしゃられた中で弱者への配慮というカラー、ユニバーサルデザイン、その辺のところもこれから重要なところだと思いますし、何よりも仙台駅でいつも迷うという貴重なご意見、ありがとうございました。</p> <p>他にご意見いかがでしょうか？</p> <p>はい、柘窪委員どうぞ。(1:25:35)</p>
柘窪委員	<p>絶対ではないのですけれども、今回のサインに関しては商店街さんの方から出して欲しいというような希望があったと思っております。私はその現場にいたのですけれども。</p> <p>先ほど仙台駅といったお話が出たのですけれども、「一番町三丁目から仙台駅はどちらですか」と、逆にわからないと。我々は単純に大町・新伝馬町を歩いていけば仙台へ行けますよと言うんですけれども、一般の方はそれすらわからない。当然、来年にはあの辺は藤崎前に地下鉄の駅</p>

	<p>ができるのですから、かわるかもしれないけれども、そういった単純なことすらできない。本人は一番町三丁目まではどうにかして来ているのですけれども、帰りがわからないと。そういう発想も必要ではないかと。</p> <p>それと、先ほど堀先生がおっしゃったように、このスケジュールでいくとイベント中心になっていくのであれば、20年近く前に世界首長会議でやったとおり、青葉通りにフラッグをやっていけば、国際センターは幸いに青葉城跡まで繋がるわけですから、そのような方法でやれば。</p> <p>というのは、いたずらにそちら方面のサインにお金を沢山かけるのは、果たして良いのかどうか。イベントだけだったら予算の面もあるわけですから、寧ろ我々業界からしてみれば、サインに対して良いものを作るには、それなりの予算がかかるという発想でいかないと、数だけを増やすためにあちらこちらの町内に、それこそメンテナンスがかかるようなサインを作っていたのでは、逆の方向に向かうのではないかと。</p> <p>だから長いスパンで、とりあえずは中心部、それからあとは、私のところで言いますと経ヶ峰の方向とか観光地が沢山ありますので、そういったところに沢山使っていただければと。</p> <p>それと、これもまた絶対ではないのですけれども、一般の方は木目調のサインが喜ばれているような感じがするので、これが良いという訳ではないのですけれども、機械的なものが果たして喜ばれるかどうか。逆にアーバン的なものが喜ばれるのかもしれませんが、専門委員の方にはそういった発想を持っていただけたらなと思います。</p> <p>以上です。(1:28:48)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今、最後におっしゃった木目にしろ、そうでない材料にしろ、そういったデザインといったものも仙台の表情を作りつつ、且つ見やすくというようなことになっていくんでしょうけど、そういう素材ということも表情作りで重要なことだと思います。</p> <p>はい、庄司委員どうぞ。(1:29:18)</p>
庄司委員	<p>一点だけ、お話をさせていただきます。</p> <p>地域性、或いは仙台らしさということが、まず大事だと言われておりますけれども、全国的に仙台というと「杜の都」というイメージがありまして、そういう中で昨年、楽天の優勝でクリームゾンレッドのイメージが全国的には結構強くなったという部分もあるかと思えますし、また、サッカーではイエロー、黄色が強い訳でありますから、そういう仙台市のイメージカラー的なものがちょっと出れば良いのかなと思いますね。</p> <p>ですから、全国の統一性という部分もあるかと思えますけれども、文化も含め地域性的なものを織り込めないのかなという思いで、今お話しさせていただきました。</p> <p>以上です。(1:30:34)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>こちら側がずっといっていますが、お隣の佐藤委員、ご意見いただけますか？(1:30:47)</p>
佐藤委員	<p>それでは二点ほど。</p> <p>一点は、多言語の表記について。どの辺のエリアまで、どの種類の言</p>

	<p>語を表記するののかというところと、設置する場所、位置についても検討していく必要があるのだろうが一点と、もう一つはエリアのランドマークでありますとか、目印とかいう部分についての素材は、現場である中心部商店街の意見、情報を収集し、よく連携をした形で取り入れられたら良いのかなと思いました。</p> <p>以上、二点です。(1:31:53)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>今、ランドマークという言葉の中で私もふと思いだしましたのは、ケヴィン・リンチの「都市のイメージ」という本にランドマークとか、エッジとか色々出てくる訳ですけども、その辺も意識して全体の大きな配分計画みたいなことも必要なのかなと思いますが。</p> <p>それでは、馬場委員、お願いいたします。(1:31:21)</p>
馬場委員	<p>はい。私の方では、細かい整備、サインのデザインというのは、それぞれ必要な部分というのがあると思いますので、先ほど堀先生からありましたように、単体、集合と必要に応じて検討が必要だというようなことを非常に理解したのですけれども、仙台はこれから新しいところへ向かっていきたいといった時には、全体の中でユニバーサルデザインというような考えに向かっていく。つまり、いわゆる弱者と言われる方ですよ、交通弱者と言われる子供や高齢者。</p> <p>先ほど他の媒体で、例えばスマホだったりそういったもので、学生を見ていると本当に普通の勉強もこれくらいシャキシャキ情報収集をしてくれば良いのになと思うくらい、必要な情報に関しては得る知識を持っているので、世代というところは勿論大事なんですけど、弱者と言われる方たちを誘導できるというのが、結局ユニバーサルというところに繋がっていくのかなと思いますので、サインは勿論のこと、例えばバス停であればサイン及び足元の舗装だったり、ベンチだったり、そういうところの全てのデザインと一体していくという視点が非常に大事だと思いますので、この委員会の宿題としては表示する媒体なのかもしれませんが、そういったデザインの一体性までも勿論考えていくということを忘れずに進んでいっていただきたいなと思いました。</p> <p>以上です。(1:34:43)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは時間もありますので、専門委員の方もご意見いただきたいと思いますが、いかがでございましょうか？</p> <p>じゃあ、相澤専門委員どうぞ。(1:34:31)</p>
相澤専門委員	<p>わかりにくい仙台駅の代表でございます。</p> <p>お客様にわかりやすいサイン…うちでもサイン・デザインマニュアル等を作っておりますけれども、仙台駅も2回ほどチャレンジしております。かなり変えたりもしましたが、結果難しい。やはり広告とのバランスですとか、人間の目線に必要な情報は入れてあるのですが、そこが見にくいといった部分も含めてです。</p> <p>JRの駅は、大体が入る方向が緑で、出る方向が黄色で出口まではたどり着けるといふ、それだけはこの駅でも同じようにやっているはずなんですけれども。基本的な考え方として抜けているだろうなというの</p>

	<p>は、これは私個人の反省にもなりますが、駅を出て行っていただいてから、どちらかというと二次交通。ですから、バスバースはこちらにありますよ、タクシー乗り場は一階ですよとか、地下鉄はここを出てからですよというご案内までしかできていないのが事実だと思うんですね。特に仙台駅は、バスの二次交通が、乗り場も多かったりするものですから、わかりにくい、案内しきれていないという部分も含めて、高速バスも離れていますかね？山形へ行くのはさくらのの向かいあたりから乗られていると思うのですが、そういったところの案内というのが、どこまでどういう形でご提供していくのかという部分も含めて非常に悩ましい問題でもありますし、そうは言っても、いわゆる鉄道事業者も交通弱者と言いますか、二次交通、私どもからとっての二次交通です。すみません。</p> <p>そういう意味ではバスですとか、タクシーですとか、歩行者の案内等というのをきっちりやっていくことの重要性は非常に認識しておりますので、色々な方とのタッグも必要となってくると思いますので、そういった形がうまく表現できればと思っております。</p> <p>それと世界防災会議そのものは、イベントというか限られた期間でするので、その部分ともう少し長いスパンでの案内サインというのは、多分わけて考えるべきではないかなと思っております。</p> <p>以上です。(1:37:02)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>いずれにしても、仙台駅の構内であっても利用者目線で外部の情報との連携ということも、これから充実していただけたらと思います。</p> <p>じゃあ、阿部委員。お願いします。(1:37:19)</p>
阿部専門委員	<p>はい。先ほど審議会の委員の皆様から出ておりましたけれども、私たちも例えば海外とかよそへ行った時に、地図だとか、サイン等を見ても、ランドマークというか目印になるところをある程度見つけて、情報があつて、それを拠点に歩いていくという形がありますので、仙台市内のランドマークというか、どこを目印にしていくかを明確に出すべきだと思います。</p> <p>あと、先ほどユニバーサルデザインの話も出ておりましたけれども、誘導サインの整備の基本方針という中で誰を対象にというのがこの方針の中に見えない。</p> <p>要するに先ほどから出ている国際防災会議とかありますけれども、ピクトグラムも観光面で言えば国際基準のものとか結構ありますよね。これを使っていくのかとかですね、もちろん、市民のため、観光客のためと言いながら、意外とこの方針の中に誰のためというところが明確に出ていないので、ここはきちっと出していった方が、恐らく専門部会の中で手法として国際基準のピクトグラムを使うとか、色々なアイデアが出てくると思いますので、そこは書き込んだ方が良いのかなと私は思いました。(1:37:51)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>専門委員の方で他の方はいかがでしょう？</p>

	<p>じゃあ、石井専門委員どうぞ。(1:37:58)</p>
石井専門委員	<p>先ほど、冒頭で申しあげましたように、商店街中心部の活性化の仕事をしている部分で、例えば仙台なびつくとか、ろっけんパーク、特に観光シーズンになりますと色々な大会社の方が問い合わせにくるんですけども、面白いのは先ほど桴窪委員もおっしゃったように、この道はタバコを吸っては駄目とか、自転車乗っては駄目というのはわかるけど、仙台駅がどこにあるのかわからないというようなことになってしまふんですよ。</p> <p>結構、ネガティブな表示が多い。何しちやダメ、かにしちやダメというのが多いのですけれども、いわゆる大会社にとってのメリットというか、ポジティブな部分でどっちの方向がこうだという、基本的なところが見えてない現状があると思います。</p> <p>あと、距離を聞かれます。他の都市に行きますと、例えばどこどこ駅まで何メートルとか表示があつて、分岐点で言うところのこの駅は 80m、こっちは 100m とどちらが近いかわかる。距離が少ないという現状、それがよく聞かれますので、そこのところが一つ、我々の思いとしては認識している問題点であります。</p> <p>もう一つ、商店街の活性化で言いますと、色々なサインを考える時に、ちょっとアイデアで言えばですね、色々なサインがある、その中でこのお店はここだというのをうまく取り込むことによって、サインを作る費用の一助にできるかもしれませんし、また、広告というか活性化の一助にもなるかもしれない、そういう視点もそれは街の中で事業をしていると聞かれることでありますので、その辺も今回かどうかわかりませんが、若干将来的に一つの糧になれば良いのかなと思いました。</p> <p>以上でございます。(1:40:51)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>他に専門委員の方いかがでしょうか？</p> <p>じゃあお隣、北村委員お願いします。(1:40:52)</p>
北村専門員	<p>バス協の北村ですが、これを見ていると仙台駅といいますのは、バスを使用する方においては、非常にわかりにくいというところが、今でもバス協の方にも色々お客さんからそういう電話が来ます。結局分散化されていて、東口、西口、4か所くらい交通・高速バス乗り場がございます。これは集約すれば、本当は仙台駅周辺にバスターミナルを作っていたら、サイン問題なんて殆ど関係ないのですけれども、バス事業者は体力がありませんので、行政にずっとお願いをしているんですけども、なかなか実現しそうでないというところがございます。仙台駅周辺にバス乗り場の案内板を、今 30 か所くらい立ててございます。私も見に行きましたけれども、正直言ってなかなかわかりにくいと。多分、他の方が見てもすぐわかるかたって殆ど少ないと思いますけれども、我々も非常にそういうところも検討しております、折角こういう機会ですから、ちょっと悩んでおりますので、今後検討していきたいと思っております。</p> <p>以上です。(1:42:25)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございました。</p>

志子田専門委員	<p>では、お隣、志子田委員、お願いします。(1:42:31)</p> <p>志子田でございます。</p> <p>我々この市内で観光案内すると、お客様から一番言われるのが、「どうやって行けばいいの？」というのが一番多いんですよ、正直なところ。その視点というのが大切だと思います。</p> <p>ただ、各委員の先生方からもお話があったように、あれもこれもと入れてしまうとハチャメチャになって何が何だかわからないという状況があります。それである程度シンプルという形が必要なのかなという気もしますし、それから今思うのは、一つサインを作れば、毎年毎年リニューアルするわけにはまいりませんので、それをうまく補完できるのは、やっぱり技術の進歩と言いますか、スマートフォン一つとってみましても、日進月歩なわけですね。おじいちゃんおばあちゃんもスマートフォンはこれから普及するんだと思います。某企業さんでは、吉永小百合さんを起用してやられているように。</p> <p>ただ、アナログという部分はある程度必要だと思いますので、そこは両方うまく使い分ける。</p> <p>例えば、おじいちゃんおばあちゃんの弱者の場合は、我々人がお伝えする仕組みをしっかりと作るのと同時に、スマホ世代、スマホ活用というのはエリアアプリとかを使って、当てれば行きたいところへ誘導してくれるとか、今は5m刻みでできるので、勿論経費が掛かるお話ですけども、はめ込んで勉強していくのが良いのかなと思います。</p> <p>条件整備としては外国人ということを視野においた時には、今、外国人観光客からよく言われるのは、「Wi-Fi があるのか」ということなんです。これは日本人も同じだと思います。Wi-Fi 環境を整えるのと合わせて、サインもそちらにうまく活用できる知恵を絞る必要があるのではないかと常日頃考えておりました。</p> <p>以上です。(1:44:41)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>そのままお隣へ行きましょうか。高橋委員お願いします。(1:44:46)</p>
高橋専門委員	<p>はい、仙台商工会議所の高橋です。</p> <p>私、仙台市さんで今、観光二次交通のあり方検討会というのをやっておりまして、そちらのメンバーにも参加させていただいております。そちらも皆様から出ているような形で、非常に二次交通がわかりにくいということで、何らかの形で整備をしていく必要があるということでやっております。</p> <p>それにつきましても、資料6にありますようにスケジュール感が、イベントの世界防災会議というのもあります。地下鉄東西線の開業が27年というのがあります。あとは、JRさんがいらっしゃいますけれども東西自由通路の拡幅、東口の再開発というの、大体同じような時期に重なっているということで、同時並行して整備をしていく必要があるのかなということで、こういったサインの表示等についてもやっているんだと思いますけれども、どこかで関係機関と連携して実施をしていかないと、この資料にあるように、折角作ったサインのそれぞれが、独自にやっていくことによって美観を損ねているという、同じような結果になっ</p>

	<p>てしまいかねないなど資料を拝見させていただいて感じたところです。何らかの形で仙台市さんの中でも連携をした形で実施をしていただけたらなと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。(1:46:30)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>じゃあ並木専門委員、お願いいたします。(1:46:35)</p>
並木専門委員	<p>先ほど出ていた誰のための誘導なのかというところは、ある程度、時間がない中では絞るなり、今回はこの内容でとか、今回はこの課題でというふうに話し合っていた方が良いのかなと感じました。先ほどから出ている、イベント周知なのか、的確に迷わずに行けるようにするかというところで、迷わずに行けてユニバーサルな方向というのが、自分は感覚的に聞いていて共感できるなと思いましたので、そういったことと、交通という部分はどうしても外せないと思うので、交通の連続性だとかそういったところを考えたいというのと、あとランドマークがあるというのが非常に大事だなと思ったんですけども、これは観光にも関係してくると思うんですけども、仙台に誰かが来た時に、「どこへ連れて行ったらいいかかわからない」とよく聞くんですけども、つまり仙台のランドマークが何かと皆が共通認識を持っていなかったり、「何もないのよ、仙台は」と思っていることは結構多いので、仙台にはこれがあるというのを仙台市民にも認識してもらえよう活動というか、そういったところが根底にあったり、今あるものを上手に活用してランドマークとして考えていこうという視点を持つというのも大事なのかなと思いました。</p> <p>あと、チェーン店とかコンビニというのが、非常に商店街に進出してきたことによって、どこの街でもそうですけれども、景観が同じになってきているので、そういったところの存在についても、チェーン店の景観のまま出店してもらおうのか、ある程度規制をして出店してもらおうのかとか、場所によってはそういったことも考えていく必要があるのかなと思いました。</p> <p>以上です。(1:48:55)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>ではお隣、増田専門委員、ご意見お願いします。(1:49:00)</p>
増田専門委員	<p>いくつか気になることがあるんですけども、例えば仙台の骨格的な都市構造というか、北四番丁とか東一番丁通りとか極僅かだけついていて、京都や札幌のように明確には見えないんですけども、古い人に聞くと、これが1, 2, 3ですという構造になっているんですが、初めて仙台に来る方はそういう構造をどのくらいおわかりかなと。もし、わかっていけばもうちょっと説明もしやすいんじゃないかなと思ったりもするので、多分そういう情報はいくつか埋もれていて、皆が手掛かりしている場所というのは、どこかにもう少しあるんじゃないかなと思いました。</p> <p>あともう一つは、時間的にかなり難しいですけれども、先ほど現地のどこにデータがあってどうなっているかというフィールドワークみたいな結果が少し載っていましたが、恐らくすぐには全部できないのもあり</p>

	<p>ますので、例えば最近 GPS が乗っかっているビックデータみたいなものも使おうと思えば使える環境が出てきておりますので、ぜひこういう調査をやったらどうかと決めておいて、1年間くらい色々やりながらいずれフィードバックしていくとか、外国人の方に端末を持ってもらって、今どこへ行っているんですかねみたいなデータを把握してみて、このスポットは重要ですよというようなものも、やっていますというようなことと併せて長期の戦略もあればいいかなと思いました。</p> <p>以上です。(1:50:42)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは、脇坂専門委員、お願いいたします。(1:50:47)</p>
脇坂専門委員	<p>脇坂です。二点ほど。</p> <p>私は、今の仙台市のサインの深緑というのは結構好きなんです。こんな色のサインを使っているところはなかなか他の都市ではないで、これはやっぱり杜の都としての矜持がこの色に現れているんだなと思って、ガイドラインにもそう書いてあるのかなと思ったら何も書いていなくて、なんでこの色になっているのかわからないんですけども。</p> <p>一方でサインが緑なので、杜の都の象徴である並木がどこにいったらあるのかということが逆にわからないんじゃないか。折角の杜の都というのに、どこが杜の都の軸線なんだという情報が逆に伝えにくいのかなというのは感じました。</p> <p>あと、仙台が分かりにくいという話。また駅の話もいっぱい出ておりましたが、これはサインだけの問題じゃなくて、正直都市構造の問題です。</p> <p>というのは、東口というのは大変わかりやすく、降りるとまっすぐ行けばKスタがあるという感じで、その奥に行けば東部道路があって海があるというイメージがパンと湧くと思うんですよ。</p> <p>ところが、西口に出るとこの先をまっすぐ行くと、実は青葉山公園、青葉城があるとピンと来なくて、そこから主要な道路が皆、東西南北からちょっと斜めになっていたりして、そこに並木道とかアーケードとかの主要に通る軸線があるわけで、駅から降りてその構造というのがすごくわかりにくい。広瀬川もグニョグニョとしていますので、初めて来た人は全然わからないと思います。るーぷるに乗って仙台をグルグルしても、その構造がつかみにくくて、不安な感じになるのではないのかなと思います。</p> <p>そういう意味でいうと地下鉄の東西線ができて、ここから地下鉄に乗ってまっすぐ行くと青葉山の方へ行くんだよというのがピンとわかると、なるほど仙台はこっちへ行くと広瀬川があって、仙台城があるんだなというのが印象付けられると思うんですよ。そうするとこっちの市役所とか県庁の方へ行くイメージの軸と、お城の方へ行くイメージの軸と、駅を降りてすぐサインなり、案内なりで何となくわかって、地下鉄に乗れたりするような環境ができれば、サインの見直し計画という意味では、うまくいくのではないかなと思っています。</p> <p>以上です。(1:53:16)</p>
宮原副会長	<p>はい、ありがとうございます。</p>

	<p>一通り、審議会の委員の方、審議会の専門部会の委員の方から貴重なご意見をいただきました。時間も迫ってきておりますが、本当に今日は貴重であったなということは、それぞれにいただいたご意見というのは、みんな実は当然ながらリンクしているわけで、規制と誘導の話もあれば、堀委員からのサインの単体、個のサインですね、それと全体のサイン、集合、連続性のサイン、そういった一部のサインだけ見ると失敗するぞというようなこともあり、そしてまた日々のサインであり、イベントに向けてのものであり、そして地図というものを改めて、私たちももう少しきちんと見ていく必要があるんじゃないかなと。</p> <p>地図の活用についてですとか、ユニバーサルという考え方。そしてまた、ランドマークという。これもただランドマークというものの認識だけでなく、名実ともに、やはりそれを仙台が明確にしていくことによって、新たな仙台の都市のエネルギーに結び付けていくというようなことも必要であるでしょうし、そして、サインとサインを取り巻く環境とデザインとの一体性ですとか、そういったところでの人の動きを意識した配慮ということもあるでしょうし、またこのサインというのは情報を伝えていくということになる。そのために、face to face というような切り口もあれば、また科学技術の進歩に伴う電子機器の活用であったりとか、色々なことがあるかと思いますが、そういった具合に非常に、誘導サインというものを取り巻く本質を突いたご意見を多くいただいたと思います。</p> <p>今日は、ここで私が意見を集約するということではなしに、皆様から頂いたご意見を踏まえて、今後専門部会で具体的な検討をしていただきまして、本日の意見を踏まえた部会の意見がまとまった段階で、また審議会で報告していきたいと思っております。</p> <p>一応、本日これで閉めたいと思っておりますが、どうしてもこれだけは言っておきたいということがありましたら、お伺いいたしますが、よろしいでしょうか？</p> <p>では一言だけどうぞ。(1:56:32)</p>
巖 委員	<p>サインのことでないかもしれませんが、景観の中で見えるものだけではなく、音というのも景観の一つで、私が海外の友人等から話を聞くと、アーケードでは非常に色々な音がある。どちらかというところ「ややうるさい」という意見がありますので、今後は景観を考えていく際に、音ということも要素の一つとして捉えていけたらいいなと思っております。(1:57:13)</p>
宮原副会長	<p>ランドスケープという視点で検討していければと思います。</p> <p>それではこの辺で閉めさせていただいてよろしいでしょうか？</p> <p>はい、これで事務局にお返しいたします。(1:57:24)</p>
9. 閉会 (1:57:24~2:00:22)	
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員及び専門委員の皆様、本日のご審議ありがとうございました。</p> <p>最後に都市警備局長の小島より一言申し上げます。</p>
小島局長	<p>本日は、活発で示唆に富んだご意見等を賜りまして、誠にありがとうございました。</p>

	<p>我々として、1年後に迫っております国連防災会議でございますが、実は仙台市の街づくりにつきましては、27年開業の東西線、都市軸の骨格が完成するわけですけれども、それに向けて様々な整備を行ってまいりました。案内サイン等につきましても整備に併せて色々とやっていこうということでありましたが、1年前倒し的に案内サインについては基本方針を策定するよというものが、市長からの命題でございます、こんなスケジュールになってしまったことについては、お詫びしたいと思っております。</p> <p>今回は様々なご意見、仙台駅がわかりにくいということについては、私共も重々認識しており、JRさんのご協力をいただきまして、仙台駅大改造の事業として開業に向けておこなっているところでございます。</p> <p>その暁には、「おもてなし」という訳ではございませんけれども、十分にわかりやすいものになろうかと思っておりますが、1年前倒し的にやっていかなければというところがございますので、長期的な視点に立ちながらも短期的に…先ほどフラッグというアイデアもございましたけれども、当面何ができるか、長期的にはこういうことを視点として等も含めまして、様々なご意見等を承ればというふうに思っております。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。(1:59:40)</p>
事務局	<p>二つほど事務局よりご連絡申し上げます。</p> <p>専門部会につきましては、2月13日木曜日午後1時30分から3時30分を予定しております。</p> <p>武山委員及び専門委員の皆様、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それから、2月3日月曜日午後3時から5時の予定で堀委員をお招きいたしまして、講演会を予定しております。お時間が許す方はぜひお越しください。</p> <p>それでは以上をもちまして、平成25年度第3回仙台市景観総合審議会を閉会いたします。</p> <p>どうもありがとうございました。(2:00:22)</p>